

ことばのうみ

宮城県図書館だより

MIYAGI PREFECTURAL LIBRARY No. 24 2007. 3

特集

宮城県図書館のボランティア活動
これからの図書館をつくる“協働”のカタチ——。

生涯学習相談室(本館2階)にて。講座や講師、施設などの情報を提供しています。

パソコンは使わない

内館 牧子

私はパソコンに一度もさわったことがない。むろん、インターネットもメールも一切やらない。緊急時には秘書にやつてもらおうが、その頻度は極めて少ない。これは私が機械に弱いせいではなく、過剰な情報は不要と考えており、遮断を決めているからである。当然、脚本も小説も原稿はすべて6Bの鉛筆で手書き。手紙も万年筆で書く。

それなら調べものはどうするか。図書館を使う。私は二〇〇六年三月に東北大学大学院を修了したが、修士論文の調べものはほとんどすべて図書館でやり、論文は鉛筆で書いた。小学生の頃から図書館が好きで好きで、脚本家になってからもドロドロの恋愛ドラマを図書館で書くほどだ。図書館をうまく使えば、大型コンピュータを持っているに等しい。

東北大図書館にも、夜までこもっていることがよくあった。帰り道、ふと振り返ると閲覧室の暖かな光が、仙台の冴えた夜気に映えている。北国の大学の美しいシーンだった。

(うちだて・まきこ 脚本家)